

いろいろな種類の小型熱帯魚の飼育にTRYしてみよう

熱帯魚って？

熱帯魚とは東南アジアや南米など熱帯や亜熱帯地方の川や湖、沼などに生息する淡水魚のこと。種類はとても多く色や形だけではなく性格も種類によって様々だよ。

あとで紹介する温和で丈夫な種類の熱帯魚を選んで飼育してみよう。



水槽をセットしよう

水槽サイズに合わせたライト、ろ過フィルター、底砂、ヒーター&サーモスタット、水温計を用意しよう。水をいれた水槽はとても重いから、強度が高く水平を保てるまっすぐな台の上に設置しよう。また窓の近くなど日光に当たる場所ではコケが生えやすいので、直接日光の当たらない場所を選ぼう。

ろ過フィルター

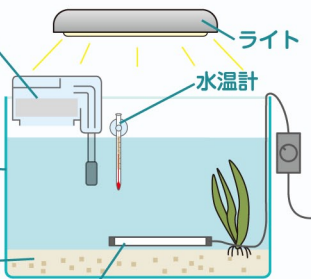
フンや残餌で発生する水の汚れをキレイにするよ。外掛け式や上部フィルターがおススメ。なるべくスペースの大きなものを選ぼう。

水槽

60cm以下のガラス水槽で、なるべく大きいサイズがおすすめ。水量が多いほど水質が安定するんだ。

底砂

水槽の底の砂利は、ろ過バクテリアの棲み家、水草の固定など重要な役割をするんだ。



ヒーター&サーモスタット

水温を26℃前後にあわせよう。

熱帯魚と一緒に水草を育てよう

水草はいらどりを添えるだけでなく、コケの原因になる糞分を吸収したり、二酸化炭素を吸収して酸素を供給したり、産卵場所や、魚のストレス軽減にもなるんだ。以下の3種は特に光が弱くても比較的簡単に育成できるよ。



アヌビアス・ナナ



ミクロソリウム



ウィローモス

水をきれいにするしくみ (ろ過について)

ろ過には物理ろ過・生物ろ過・化学ろ過の3種類あって、きれいな水の維持には生物ろ過が最も重要なんだ。

【物理ろ過】

マットなどで魚のフンや残餌などの大きな汚れをこし取る。

【生物ろ過】

魚の排泄物や残餌から発生する有害なアンモニアなどを「ろ過バクテリア」が害の少ない物質(硝酸塩)に変えて水を浄化させる。

【化学ろ過】

有害なアンモニア、黄ばみ、ニオイなどを、ゼオライトや活性炭などで、化学的に吸着して取りのぞく。

